

明 る い 東 海

〔発 行〕2010年3月7日 No.61
日本共産党東海村委員会・議員団



大名 美恵子
3 期

村松2401-2
TEL/FAX (284) 0761

議会運営委員会
建設経済環境委員会
原子力問題調査特別委員会



川崎 篤子
1 期

白方284-1
TEL/FAX (282) 0229

文教厚生委員会
ひたちなか地区問題調査特別委員会
自治基本条例調査特別委員会

国民の力でつくりだした 新しい政治をさらに前に進める年に

今年夏に、参議院選挙がおこなわれます。昨年の総選挙で、「政治を良くしたい」という国民の強い願いが、自公政治から民主党を中心とする新しい政治に変えました。参院選では、その政治の中身が大きく問われます。

いま政治になによりも求められているのは、安定した雇用と仕事の確保、社会保障のたて直しではないでしょうか。日本共産党は、人間を使い捨てにする労働者派遣法を抜本的に改正すること、中小企業を支援することなど、「ルールある経済社会」を求め、国会内外で奮闘しています。みなさんの声、現場の声を直接届け、社会保障を減らし続ける路線の転換を求めています。

鳩山内閣は、労働者派遣法を改正するといいいながら、実施を3年から5年も先送り、後期高齢者医療制度の廃止についても4年先送り、障害が重ければ重いほど負担が重くなる障害者自立支援法の「応益負担」を無くす予算は、3分の1しか計上しませんでした。先送りと中途半端なやり方では、不安が広がるのは当然ではないでしょうか。政治が国民の立場にたちき

そ、国民が政治を動かす時です。日本共産党は、国民のみなさんと力をあわせ、政治を変え、前に進めるためがんばります。みなさまの大きなご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

党東海村委員会は、「村民の安全・安心のくらしを最優先で確保し、安全な食料の確保と自然環境の保全、農業の振興をはかる村づくり」をめざしてみなさんと力合わせ、住民本位の政治が行われるようとりくんでまいります。

ごいっしょに、今年を国民の力でつくりだした新しい政治をさらに前に進める年にいたしましょう。

日本共産党は、 参議院選挙の予定候補者を発表しました



史 紀 実
大 門 53歳
現 比 例【北海道、東北、北関東】

【ごあいさつ】
通常国会が始まり、わが党国会議員団の論戦力がますます光っています。

衆院予算委員会では、赤嶺政賢衆院議員が普天間基地問題で、沖縄の心を切々と訴え大反響をよびました。国会の歴史に残る質問でした。

参院予算委員会では、私が派遣法改正との関連でNTTの違法行為を追及しました。「あの短い時間で、よくあれだけの答弁を引き出した」、「芸術的な質問だった」と、自分で宣伝しています。

政治を動かすのは現場のたたかいと共産党の論戦力です。この国会議員団を参院選でさらに大きくしなければと決意しています。



後 修 葉
新 47歳
党茨城県書記長
茨城選挙区

【ごあいさつ】
民主党に、新しい政治を期待した多くの国民は、いまだ「なんだ自民党とかかわらないじゃないか」と失望といかりの声をあげはじめています。「政治とカネ」の疑惑では、「秘書がやったこと」と自ら責任を取ろうとすることができないばかりか、普天間基地の問題では、「5月までに決める」としか言えません。日本共産党が主張しているように、企業・団体献金禁止と政党助成金を廃止すること、基地の問題では、「無条件撤去」を正面から米国に求めることこそ解決の道です。日本共産党の出番の情勢です。

私も党を語る先頭に立って頑張ります。

県民の世論と運動で、4月からの保険料が据え置き 矛盾点多く、高齢者を差別する医療制度は 直ちに廃止を

―後期高齢者医療制度―

後期高齢者医療制度は、保険料を2年に1度見直すことになっていきます。2010年4月からの保険料については、2月17日開かれた茨城県後期高齢者医療広域連合議会で、値上げせず据え置くことが決められました。

この議会に先立ち、日本共産党茨城県委員会は、多くのみなさんから寄せられた「もうこれ以上の負担増は耐えられません。どうか値上げし

ないようにならないでしようか」との声にこたえて、県議会、県内市町村議員らが連名で、広域連合に、「基金を全額とりくずし、値上げしない」という要請をおこないました。

また、茨城県社会保障推進協議会と茨城県高齢者運動連絡会は、1月17日と29日、保険料値上げ中止を求めて、広域連合議会に合計で約8000筆の署名を添えて請願書を提出しました。

これらを受けて、県広域連合は1月29日、来年度の保険料を値上げせず、据え置く予算案を発表し、2月17日の広域連合議会への予算案提出となったものです。財源は、県広域連合がもっている後期高齢者医療給付費準備基金積立金など約32億円を全額取り崩して値上げを抑えるというものです。

しかし、広域連合議会は、「保険料は据え置きなのだから」と、請願を不採択にしました。

日本共産党は、後期高齢者医療制度については、即時廃止すべき制度として一貫してとりくんでいきます。ひきつづき、国会でも地方議会でも廃止を求め、高齢者のみなさんが安心して医療が受けられるよう力をつくしてまいります。

【広域連合議会を傍聴した川崎篤子議員の感想】
請願を不採択とする議員の討論は、「議案は保険料据え置きなのだから、請願は取り下げるか文中文言を削除。さもなければ不採択とすべき」と、耳を疑うものでした。議会が住民の願いを踏みにじる暴挙でした。

消費税増税 財務相発言で急展開

「2010年度予算案が2月中に衆院通過すれば、本格的に政府税制調査会に動いてもらう。消費税や環境税についても本格的な議論を3月から始める」

財政・税制を担当する菅直人副総理・財務相が2月14日、民放テレビ番組でこう言いだしました。消費税税率引き上げを含めた「税制抜本改革」の議論を始めようというのです。

番組後、菅氏は記者団に「(4年間の)任期中は(消費税率を)上げないというのが、鳩山政権の基本方針だ。大改正するときは国民に判断してもらう」とのべ、次期衆院選は消費税引き上げを争点にしてたたかう考えを表明しました。

さらに、「鳩山首相からも『議論は大いにしたらいい』と言ってもらっている」とも述べています。

他方、自民党も消費税増税に固執し、国会で政府・与党にたいし増税をあおっています。

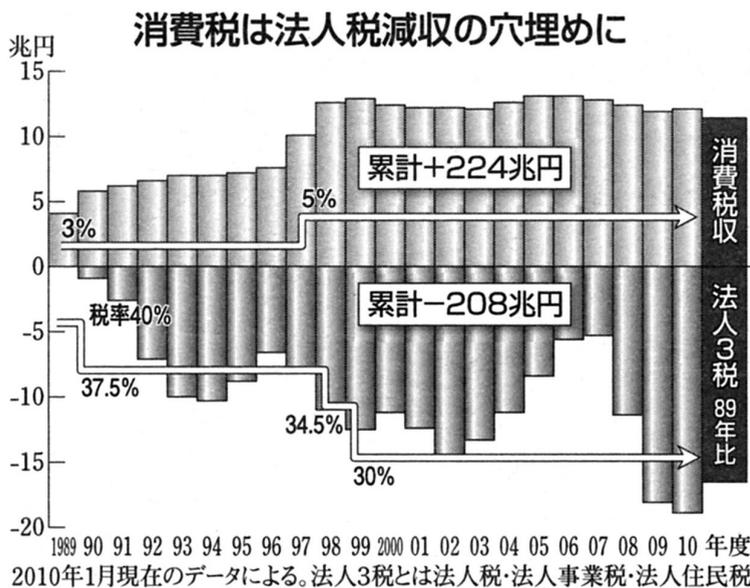
二つの聖域「大企業・大資産家優遇税制、軍事費」にメス入れよ

そもそも消費税は、「収入が少ない人ほど負担が重い最悪の不公平税制」で、負担能力に応じた課税という税の原則に根本から反しています。

2010年度の日本のGDP(国内総生産)見通しは約475兆円。1985年の1.4倍です。ところが法人税の税収は、85年の約12兆円から約6兆円(10年度見込み額)にまで半減しています。その間、法人税率引き下げなど大企業減税が続きました。

他方、89年の消費税導入後、10年度までの消費税の累計税収は約224兆円で、法人3税の減収額の累計は約208兆円です。「法人3税の落ち込みの穴埋めのために消費税が使われたのは明々白々です」。

いきすぎた大企業・大資産家優遇税制と5兆円近い軍事費、この『二つの聖域』にメスを入れて消費税に依存しないで暮らしを守るための財源を生み出すべきです。



よく聞かれるご質問にお答えします

Q 原発はクリーン・エネルギー源というが…

問い 電力会社は“原子力発電はCO₂を出さないクリーンなエネルギー源だ”と宣伝しています。日本共産党はどう考えますか。(しんぶん赤旗一読者)

答え 原子力発電は、火力発電と異なり、ほとんどCO₂を出しません。これを根拠に、経産省や電力会社は、原発を温暖化対策の「中核的役割を担う基盤電源」「切り札」だと主張しています。これは、原発が放射能汚染という深刻な環境破壊を引き起こす危険性を無視した原発推進論です。

1986年のチェルノブイリ原発事故(旧ソ連)では、深刻な放射能汚染が国境を越えて広がりました。原子炉周辺30キロメートルは、いまだに原則立ち入り禁止となっています。日本では、東海地震の想定震源域の真上に浜岡原発があり、原発の地下や近くに活断層が次々と確認されるなど、地震による重大事故の危険性もあります。

原発の使用済み燃料など放射性廃棄物の処分方法も未確立です。使用済み燃料はきわめて強い放射能をもっており、その危険性は数万年も持続します。政府は、地下深くに埋設していますが、長期にわたって安全性が確保される保障はありません。

IPCC(国連気候変動に関する政府間パネル)も、原発には「安全性、核兵器拡散、核廃棄物の問題」があると指摘しています。技術的に未確立で、安全性が確保されていない原発からは、計画的に撤退すべきです。

これまで日本政府は、基幹電源として原発を推進し、その一方で、再生可能エネルギーの利用を軽視してきました。温暖化対策のためには、省エネルギーの徹底をすすめるとともに、化石燃料依存や原発推進から脱却し、再生可能エネルギー重視へと、エネルギー政策を抜本的に転換することが求められます。

日本共産党の第25回党大会決議は、温暖化対策のために「化石燃料依存をあらため、再生可能エネルギーの利用を抜本的に高める。温暖化対策を口実にした原発推進は、放射能汚染という深刻な環境破壊を生み出すものであり、反対する」ことを明記しています

大門みきし参院議員がお話します

参院選勝利 全県女性の集いにご参加ください

つくば市・北条 市民ホールつくばね ☆4月10日(土) ☆11:00~14:00
*各後援会による模擬店やバザーもあります

しんぶん 赤旗



ご家族みんなで楽しめる新聞です

あなたも

ぜひ、お読みください
見本誌を無料でお届けしています

日刊紙 2,900円/月(毎朝お届けします)
日曜版 800円/月(日曜日ごとにお届けします)



村議回から

3月定例議会の日程をお知らせします

議会の傍聴はどなたでもできます

3月1日(月)	午前10時	開会、議案上程
3月9日(火)	午前10時	代表質問
3月10日(水)	午後1時	代表質問
3月11日(木)	午前10時	一般質問
3月12日(金)	午前10時	一般質問
3月15日(月)	午前9時	予算審査特別委員会
3月16日(火)	午前9時	予算審査特別委員会
3月17日(水)	午前9時	予算審査特別委員会
3月19日(木)	午後1時	予算審査特別委員会
3月25日(木)	午前10時	議案審議、閉会